

当事者研究の記述  
の構造分析：向谷地・  
浦河べてるの家『安心  
して絶望できる人生』を  
対象として

○大高庸平(和光大学大学院)

いとうたけひこ(和光大学)

[take@wako.ac.jp](mailto:take@wako.ac.jp)

小平朋江(聖隷クリストファー大学)

佐藤友香(和光大学)

心理教育・家族教室ネットワーク  
第13回研究集会ポスター発表 No. 12

福岡県春日市・クローバープラザ  
センター棟東側5階 (507)

2010年3月20日14:30-15:30

# 【問題と目的】

**問題:** 当事者研究は精神障害者の自助グループによる実践であり、心理教育プログラムとしての機能がある。大高(2008)や大高・いとう・小平(投稿中)は、浦河べてるの家によるウェブサイトを分析し、当事者の苦労を仲間とともに取り戻す回復の過程が当事者研究によって実現されたことをテキストマイニングにて示したが、当事者研究の多くは書籍の形態で報告されている。

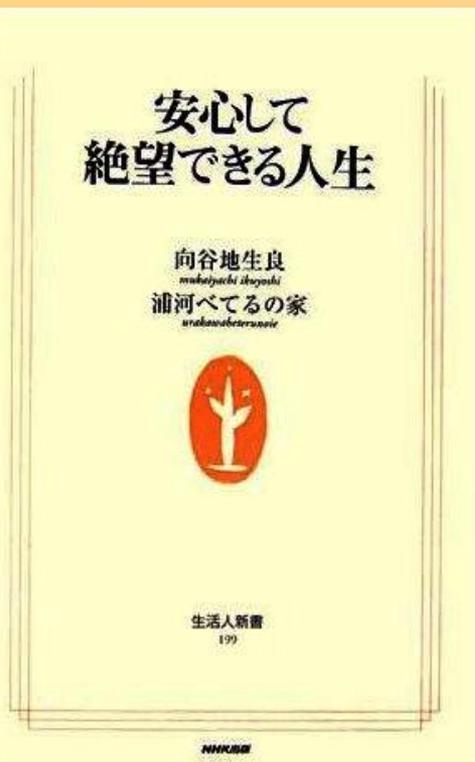
**目的:** 本研究の目的は、当事者研究の書籍における事例記述の構造の解明を通して、当事者研究の進め方と記述の構造を明らかにすることである。

## 【結論】

- 「自分の助け方の研究」である当事者研究の性格と構造がテキストマイニングによる量的分析により明らかになった。
- 重要なキーワードは特に「方法」に示され、「ミーティング」で「体験」や「苦労」を「メンバー」と分かち合う(話し合う)という浦河べてるの家の理念に基づく当事者研究の特徴が明らかになった。
- 「考察」や「おわりに」では現在進行形が多用され、研究成果を実践に活かす特徴が出ていた。
- 浦河べてるの家(2005)に端を発したこの構造はべてる・向谷地(2009)に引き継がれている。<sup>4</sup>

# 【方法】

向谷地・浦河べてるの家(2006)『安心して絶望できる人生』における精神障害者による当事者研究の記述をテキストマイニングの手法で分析した。対象は以下の9事例である。分析単位は、事例ごとに設定された節から「はじめに」「プロフィール」「目的」「方法」「結果」「考察」「おわりに」とした。



No.	研究事例名
①	「“劇場型”統合失調症の研究」
②	「“人格障害”の研究 その一」
③	「“人格障害”の研究 その二 見捨てられ不安の研究」
④	「人間アレルギー症候群の研究—第一弾」
⑤	「人間アレルギー症候群の研究—第二弾」
⑥	「“サトラレ”の研究」
⑦	「起業の研究」
⑧	「救急車の乗り方の研究」
⑨	「どうにも止まらない涙の研究」

# ① はじめに

単語	品詞	属性 頻度	全体 頻度	指標値
べてる	名詞	9	32	16.409386
研究	名詞	8	28	14.747625
症状	名詞	7	20	14.539398
幻聴さん	名詞	8	30	14.020857
さまさま	名詞	6	14	13.604404
経つ	動詞	5	7	13.032794
仲間	名詞	8	35	12.203939
幻聴	名詞	5	12	11.215876
医療	名詞	4	4	11.007649
自己病名	名詞	4	5	10.644265
長い	形容詞	4	8	9.554114
困る	動詞	5	18	9.035574
化す	動詞	3	3	8.255737
抗原	名詞	3	3	8.255737
出現	名詞	3	3	8.255737
周り	名詞	5	21	7.945423
はじめる	動詞	3	4	7.892353
一緒	名詞	4	13	7.737196
人間アレルギー一症候群	名詞	4	13	7.737196
含める	動詞	3	5	7.528969
接する	動詞	3	5	7.528969

# ② プロフィール

単語	品詞	属性 頻度	全体 頻度	指標値
学校	名詞	12	14	19.957845
母親	名詞	9	9	15.821646
仕事	名詞	10	17	13.597719
泣く	動詞	9	14	12.977441
怒る	動詞	7	7	12.305724
毎日	名詞	8	12	11.788321
精神科	名詞	10	21	11.322356
入院	名詞	9	17	11.270918
死ぬ	動詞	7	9	11.168042
暮らす	動詞	7	10	10.599201
記憶	名詞	6	6	10.547764
いつ	名詞	10	23	10.184674
母	名詞	7	11	10.03036
戻る	動詞	6	7	9.978923
家	名詞	8	16	9.512957
親	名詞	6	8	9.410082
実家	名詞	5	5	8.789803
両親	名詞	5	5	8.789803
嫌う	動詞	6	10	8.2724
高校	名詞	5	6	8.220962

# ③ 目的

単語	品詞	属性 頻度	全体 頻度	指標値
研究	名詞	5	28	20.757691
目的	名詞	4	5	20.044525
テーマ	名詞	4	10	19.056487
人たち	名詞	4	15	18.068449
感情	名詞	4	17	17.673234
抱える	動詞	4	30	15.104334
メカニズム	名詞	3	8	14.193562
人間アレルギー一症候群	名詞	3	13	13.205523
自分	名詞	8	153	11.831159
ぬぐい+ない	名詞	2	2	10.121066
過食症	名詞	2	2	10.121066
別々	名詞	2	2	10.121066
リストカット	名詞	2	3	9.923459
最大	名詞	2	3	9.923459
ベース	名詞	2	4	9.725851
一見	副詞	2	5	9.528244
解明	名詞	2	5	9.528244
否定的	名詞	2	5	9.528244
不登校	名詞	2	5	9.528244
自己否定	名詞	2	7	9.133028
働く	動詞	2	7	9.133028

# ④ 方法

単語	品詞	属性 頻度	全体 頻度	指標値
ミーティング	名詞	7	15	32.696412
体験	名詞	6	16	27.384615
苦勞	名詞	7	47	26.171079
メンバー	名詞	6	22	26.161115
まず	副詞	4	10	18.392355
整理	名詞	4	12	17.984521
行う	動詞	4	17	16.964938
べてる	名詞	4	32	13.906188
協力	名詞	3	7	13.896224
デイケア	名詞	3	11	13.080558
方法	名詞	3	13	12.672724
起業	名詞	3	17	11.857058
最初	名詞	3	20	11.245308
症状	名詞	3	20	11.245308
今	名詞	4	49	10.439604
記録	名詞	2	2	9.807927
支援	名詞	2	2	9.807927
進め方	名詞	2	2	9.807927
役割分担	名詞	2	2	9.807927
研究	名詞	3	28	9.613974

## ⑤ 結果

単語	品詞	属性 頻度	全体 頻度	指標値
救急車	名詞	19	31	30.444825
呼ぶ	動詞	10	18	15.15079
病院	名詞	11	23	15.007546
作業	名詞	8	9	14.919053
来る	動詞	10	22	13.077886
お客さん	名詞	7	10	11.952941
心	名詞	10	27	10.486756
テンピラ幻聴	名詞	6	11	8.986829
会社	名詞	6	13	7.950377
吉野雅子	名詞	6	13	7.950377
見える	動詞	6	13	7.950377
特に	副詞	5	9	7.575395
車	名詞	4	5	7.200413
体	名詞	8	24	7.145662
気分	名詞	5	10	7.057169
受診	名詞	5	10	7.057169
入る	動詞	6	15	6.913925
解消	名詞	4	6	6.682187
ガード	名詞	3	3	5.78898
会社づくり	名詞	3	3	5.78898
基準	名詞	3	3	5.78898
減る	動詞	3	3	5.78898
理念	名詞	3	3	5.78898

## ⑦ おわりに

単語	品詞	属性 頻度	全体 頻度	指標値
人	名詞	15	81	19.45935
今	名詞	10	49	14.730824
これから	副詞	5	9	12.814978
浦河	名詞	7	30	11.823392
べてる	名詞	7	32	11.120222
身	名詞	4	8	9.970714
当事者研究	名詞	4	8	9.970714
心	名詞	6	27	9.682298
講演	名詞	4	9	9.619129
もらう	動詞	4	10	9.267545
意味	名詞	4	10	9.267545
回復	名詞	4	11	8.91596
感謝	名詞	3	3	8.53279
生きる	動詞	6	31	8.275959
感覚	名詞	4	13	8.21279
くれる	動詞	3	4	8.181205
向谷地氏	名詞	3	4	8.181205
計画	名詞	3	5	7.829621
自分	名詞	19	153	6.928632
起業	名詞	4	17	6.80645

## ⑥ 考察

単語	品詞	属性 頻度	全体 頻度	指標値
人	名詞	29	81	22.459359
仲間	名詞	14	35	13.146251
自分	名詞	42	153	12.49008
言葉	名詞	10	20	12.197332
幻聴さん	名詞	12	30	11.268215
向谷地さん	名詞	9	19	10.416168
周囲	名詞	7	11	10.222425
今	名詞	16	49	9.971411
助ける	動詞	6	8	9.564122
方法	名詞	7	13	9.099563
適応	名詞	6	9	9.002691
技	名詞	5	5	8.905819
苦労	名詞	15	47	8.751677
一番	名詞	7	15	7.976702
それぞれ	名詞	6	11	7.87983
効果	名詞	4	4	7.124656
生き抜く	動詞	4	4	7.124656
対処	名詞	4	4	7.124656
はじめて	副詞	6	13	6.756969
何度	名詞	5	9	6.660097
難しい	形容詞	5	9	6.660097

表1 対象とした9事例における各節ごとの特徴語抽出  
(①~⑦)

表1における特徴語とは、テキストに付随する属性(節)ごとに、特徴的に出現する単語を抽出したものである。

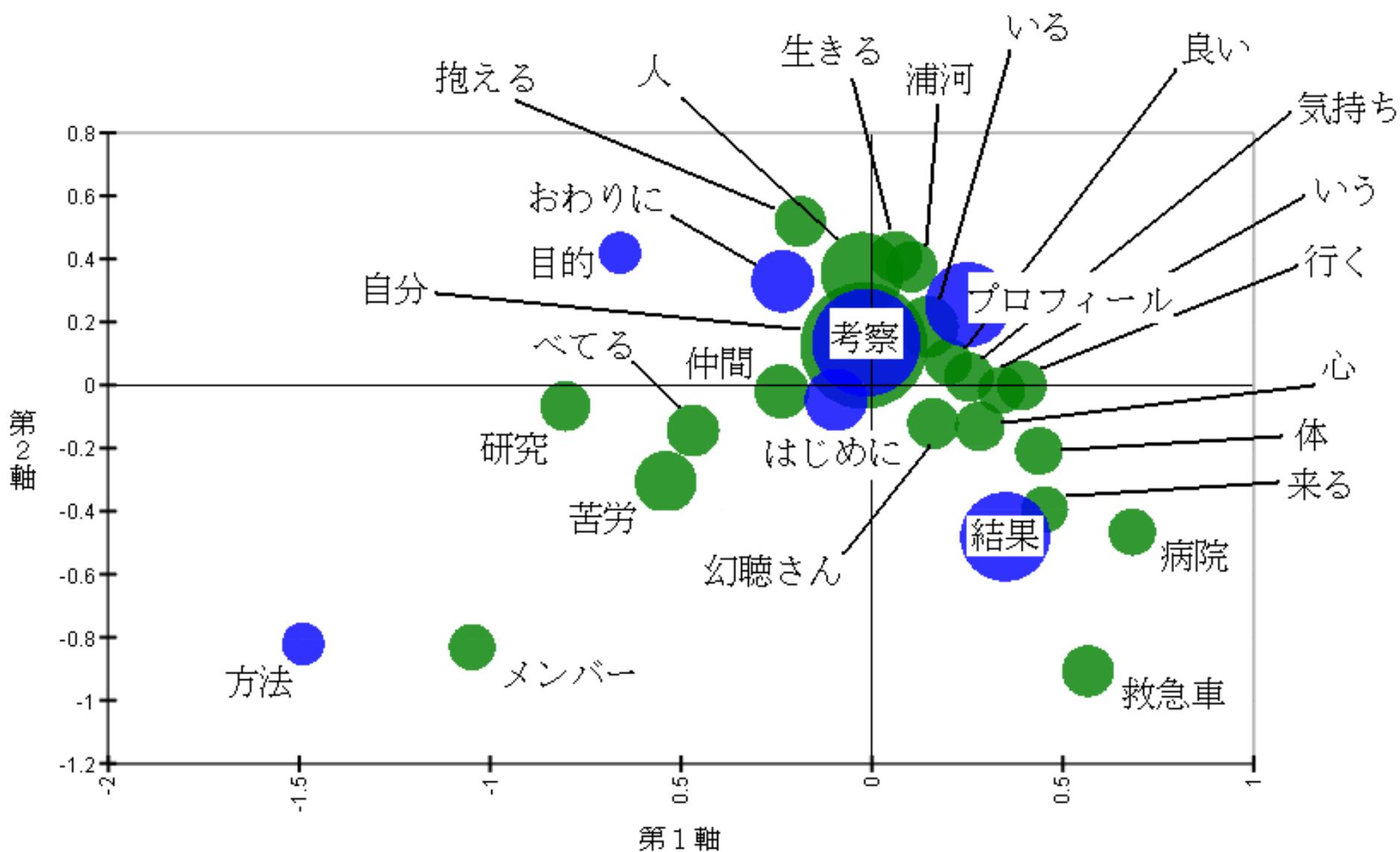


図1 「節」と“単語”による対応バブル分析（上位20単語）

図1は、対象とした9事例のテキストのなかから、属性（節）と単語の2つの変数について数量化を行った対応分析である。単語と距離の近い属性ほど関係性があり、近くに表示される。

# 【結果】

特徴語分析では、「方法」において“ミーティング”や“メンバー”、“べてる”が現れており、「考察」では“仲間”や“自分”、そして“今”や“助ける”が特徴語として現われている。「おわりに」では、“今”とともに“これから”や“生きる”が現れることがわかった。現在進行形の表現が現われている。

対応バブル分析では、“自分”と“仲間”と“人”の距離が近く、“研究”と“べてる”と“苦労”の距離が近いことから、これらは1つずつのかたまりとして、単語間においても関係性が見られた。節と単語との関係については“メンバー”は図の中心から外れ、「方法」との関係が見られている。「考察」については“自分”との関係性が見られ、“人”や“仲間”や“幻聴さん”との距離も近かった。節同士の関係については、「はじめに」と「考察」の距離が近いことがわかる。

# 【考察】

特徴語「方法」(表1)において現れた単語や、図1において「方法」と“メンバー”との関係が見られることから、テキストマイニングによって示されたこれらの結果は、当事者研究についてのキーワードを量的に明確化したものと考えられる。

特徴語「考察」や「おわりに」の節では、“今”や“これから”という現在進行形の表現があり、当事者研究は過去から現在、そして未来にむけての一人ひとりの連続した事例研究であることが示唆された。

当事者研究は、自分自身を助ける(取り戻す)研究であるとともに、リアルタイムで行われる事例研究である。その方法については仲間(メンバー)の存在が必須であり、これは先行研究で示された浦河べてるの家の構造を支える要素の1つと同様であった。

当事者研究は、精神障害者のサポートにおいて必要な「服薬」「病気」「経済」(孫他2010)などの課題とともに必要な、自分の助け方の研究である。

当事者研究の記述の構造は科学論文と同じ体裁を持っている。しかし、「苦労のプロフィール」はいかなる科学論文にも存在しない。特徴的であるこの項目は、臨床心理学研究における成育歴の記述に該当する。なお、その後の記述(べてる・向谷地 2009)では、苦労のプロフィールの置かれる場所は、「はじめに」と「研究の目的」の間に定着している。

法則定理的な自然科学的研究ではなく、個性記述的な当事者中心の事例研究に基づきつつ、他の当事者にも共通する解決策を探ろうとする浦河べてるの家の当事者研究の仮説生成的(abductive)な性格が良く現われている。

# 【参考文献】

- べてるしあわせ研究所・向谷地生良 2009 レッツ！当事者研究1 NPO法人コンボ
- 向谷地生良・浦河べてるの家 2006 安心して絶望できる人生 日本放送出版協会
- 大高庸平 2008 「当事者研究の部屋」から見た当事者研究の語りの分析：浦河べてるの家を対象に 2008年度 VMStudio & TMStudio 学生研究奨励賞(審査員特別賞)
- 大高庸平・いとうたけひこ・小平朋江（投稿中）精神障害者の自助の心理教育プログラム「当事者研究」による体験と回復の構造：「浦河べてるの家」のウェブサイト「当事者研究の部屋」の語りのテキストマイニング
- 浦河べてるの家 2005 べてるの家の「当事者研究」 医学書院